

「合理的配慮とは？思いやりとは？本当に配慮出来るのか？」

福祉職の人間が上から物を言ったり、抑えつけるような言動をしていたことは問題。

野崎 正行

#### 8/6 健康福祉プラザのプールでの出来事。

- ・ある障害者がプールで泳いでいたが、プールでの縦横無尽な泳ぎは今回が初めてでなく、毎回なので周りの人たちが関わりたくない様子。次第にレーンから人が離れていきその後、単独になる様だが俺は気にせず無視していつものレーンにいた。
  - ・ベンチでくつろいでいた方(後からヘルパーとわかる)に注意をしてくれと言うと、「精神障害者やからとか、プールが好きやからとか、あんたが右にいてるから、周りが気を遣えばいい」という発言があった。
  - ・プールから上がって近寄ると私を見た途端にその方はしどろもどろしていた。弱い相手になら最初に強く出れば押し切れると思っていたような行動と言動に感じた。
  - ・さらに、私のことを見て、視覚障害に関し差別的な発言があった。「目が悪い風には見えない、目の悪い人はまっすぐ泳げない」など。
  - ・顛末としては、プラザ所長が時間を頂きたいというので現在保留中。
- 
- ・私は障害者当事者であるが外見上わからないし、また自分でもコンプレックスと捉えず堂々した態度で振る舞うので誤解を受ける事が多々あるが、気にはしない。
  - ・だが弱者につけこむ、礼儀に欠ける、相手に敬意を持たないなど正しい行いが出来ない人間には徹底的に対応したい。その為に身体と心も鍛えてきた。これからも許し難い行為にはそれなりの対応をしたい。
- 
- ・改めて考察して欲しいのだが合理的配慮とは？思いやりとは？本当に配慮出来るのか？  
福祉施設ならば周知が末端まで行き届いて当然である。